

「犯人はお前だ！」ゲームの流れ

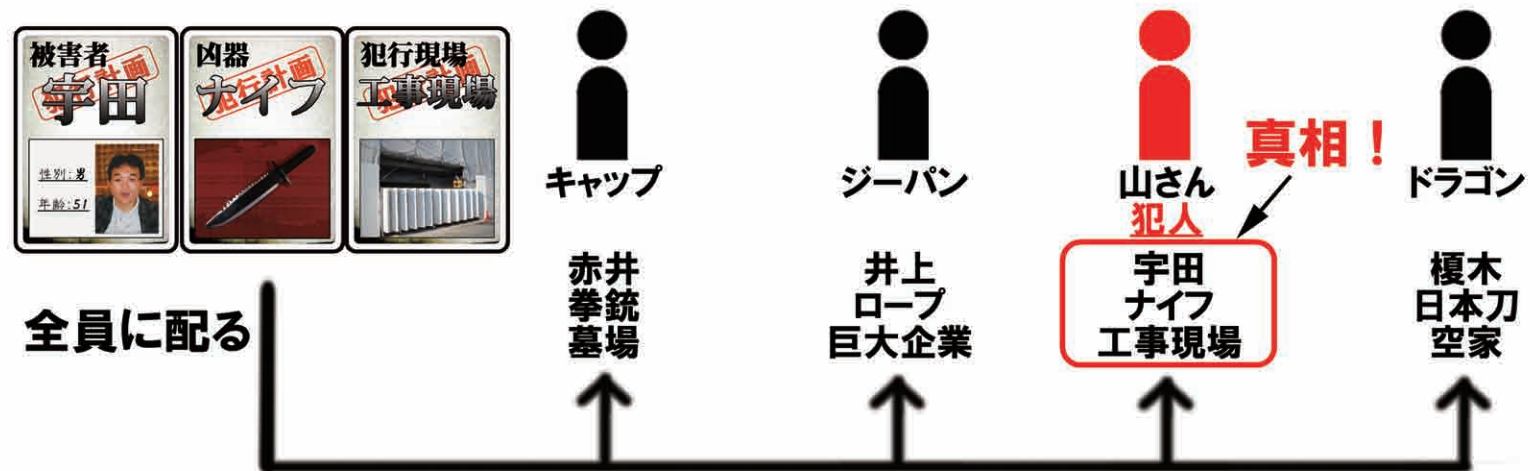
(1) プレイヤーは刑事になり、ニックネームで呼び合いながら事件を捜査します。



(2) 捜査する事件の犯人は、実はプレイヤーのなかのひとりです。



(3) 犯罪カードを3種（被害者、凶器、犯行現場）、全員に配ります。犯人が持つカードが事件の真相です。



(4) 捜査会議で何を捜査するか分担を決めます。捜査対象は、(3)で配った犯罪カードと同じものです。



※各刑事からの希望で分担を決めます。希望が被ったらキャップが決定します。

(5) 刑事が真相と同じ対象を捜査すると、それが事件の真相だったとわかります。真相以外を捜査すると無関係であることがわかります。



ただし、犯人が真相を捜査した場合、無関係だと嘘をいえます。



また、刑事も犯人も真相か無関係かは関係なく、手柄を独り占めするため、捜査をかく乱するために、捜査結果を隠すことができます。

(6) 全ての捜査が終わったら誰が犯人かを推理し、キャップ(親)の「犯人はお前だ！」の掛け声で刑事は犯人を指差します。



(7) 犯人を当てた刑事は真相を推理して発表します。

刑事は犯人と真相を当てることができれば得点できます。犯人は刑事に当てられない、または、犯人とばれても真相は全て当てられなければ得点できません。規定点を誰かが越えるまでプレイして勝者を決めます。